

館報

銀賞受賞



2月号

No. 802

令和5年
(2023年)

やまがた



大西さんが
取材した
この日の動画は
こちらから!



地域の魅力を世界へ発信 おおにし ゆうじろう 大西 祐次郎さん

インターネットの動画共有サイト『YouTube』に動画を投稿しているユーチューバー、大西祐次郎さん。6年ほど前から延べ1,000本以上の動画を世界に向けて発信している。そのテーマは『地域ネタ』。「取材していると知らなかったこといっぱいあるし、面白い」と祐次郎さん。

この日も寒^{かん}晒^{さら}しのために唐沢川の冷水に浸けてあったそばの実を引き上げる様子取材していた。「これからも地元^{かみ}に根ざした情報を発信していきたい」と優しい笑顔で話してくれた。

(2月6日 唐沢川にて)

働姿
シリーズ

告知板

山形っ子 学びの展示発表会のお知らせ

子どもたちは、小学校や地域の中でさまざまな学びをしています。将来の山形村を担う子どもたちが、学んだ成果を展示していますので、多くの方のご来場お待ちしております。

●展示期間

- (1) 1・2・5年生
2月17日(金)～26日(日)
- (2) 3・4・6年生、
特別支援学級
3月1日(水)～10日(金)

●会場

トレーニングセンター
1階 展示ホール



展示会に関するお問い合わせ
山形小学校 ☎0263-98-2012

山形保育園 節分

2月3日(金)、節分豆まきが行われました。太鼓の音とともに3人の鬼が現れ、各部屋へ襲い掛かりました。園児たちはこの日のために制作したお面を着け「鬼は外!と大きな声を出しながら豆をまき、鬼を退治しました。鬼が帰って行く姿を見て、「鬼をやっつけろ!とぞ、やっつけろ!」と言いながらみんなで大喜び。



節分を迎え、今年も保育園にたくさんのお福が訪れるといいですね。

やまのこ保育園

開園20周年・認可園10周年 記念文化行事

1月15日(日)、ミラ・フード館にて、やまのこ保育園20周年記念行事が行われました。舞台芸能集団「田楽座」(伊那市)を招き、花笠踊りや獅子舞、南京玉すだれなど日本各地の民俗芸能や、横笛や和太鼓の演奏に、保育園児から大人まで、時間を忘れて見入っていました。

保護者の一人で主催者代表の布目友美さん(上大池)は「地域の皆さん、OBの皆さん、沢山の方に支えられて20周年を迎えることができました。その感謝の気持ちを込めて、田楽座さんをお呼びしました。みんなが良い文化に触れ、楽しいひと時を過ごせて良かったと思います」と話していました。



山すず

主に旧世界に広く分布する植物である▼この文章は、一見大昔の世界か何かを想像してしまうのだが、実は動植物な

どの分類学や歴史書などでは普通に使われる文脈である。兎角引つかかるのは『旧世界』という単語だろう▼もちろん『新世界』もある。タネを明かすとコロンブスが発見した南北アメリカ、その後発見されたオーストラリアなどが新世界。対して旧世界はアフロ・ユーラシア大陸(ヨーロッパ・アジア・アフリカ)を指し、日本は旧世界に属する。ちなみに、ドヴォルザークの交響曲第9番『新世界より』は移住先のアメリカで書かれた彼の代表作である▼大航海時代に新天地を求めて大海を渡った先人たちは、遂に新世界を発見するに至った。そして今、人類は地球の外に出る技術を確認しつつある。地球自体が旧世界と呼ばれる日は近そうだが時に、新世界の本質は、人の好奇心や生き甲斐に集約されると思う。もう漕ぎ出した人も、これからの人も、個人が求める『新世界』を見つけ出してほしい。

図書館からのお知らせ

* 図書館講座

「親子でお片付け」参加者募集！

日時：3月11日（土）

午後1時30分から午後3時まで

場所：トレーニングセンター

ふるさと大ホール

定員：10組

講師：藤森妙子さん

（『住まいプランニング』代表）

子どもが小学生になるとグッと物が増えます。おもちゃや趣味の物、勉強の物、思い出の物…。

どうやったらうまく片付くのでしょうか？子どもが自分で片付けられる方法を、ワークショップ形式で楽しく学びます。

問い合わせ・申し込み

山形村図書館 ☎0263-98-3155

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館へ！

BOOK No.62

編集＝山形村図書館

図書館ちくちくくらぶ
カード織りのしおり、作ったよ

1月29日(日)、トレーニングセンターめばえの部屋で、カード織りのしおりを作りました。

児島美代子さん(松本市)を講師に、中村みどりさん(上竹田)を助っ人に、親子16人がチャレンジしました。



カード織りは北欧発祥の織り方です。カードに開けた4つの穴に糸を通し、カードを回転させながら模様を織り上げます。4回手前に回し、4回戻す。と書けば単純ですが、「あれ？何回まわしたっけ？」「今どっちにまわした？」「糸が切れちゃった！」と

悪戦苦闘の皆さん。

ひよこの連続模様は最初、体が伸び切っておすもうさんのような横幅でしたが、子どもたちは飲み込みが早く、2本目はとてもスマートなひよこになっていました。

「難しくって頭がこんがらがっちゃったけど、楽しかった」と、それぞれ味わい深い作品に仕上げていました。

本は人生の道しるべ

講師の児島さんのお話です。

「小学校の時に出会った手織りの本に心魅かれ、いつか自分でやってみたいと思っていました。大人になって出会ったスウェーデンの暮らしの本に憧れ、スウェーデンへの留学を果たし、現地で織りを学びました。これが私の生き方を決めた2冊の本です」

と紹介してくださいました。

図書館職員としては

このお話が心に沁みました。本の魅力と威力



を再発見した気分です。

村図書館にも、誰かの人生の道しるべになるような本が眠っているといいなと、ひそかに願っています。

今年度の図書貸出

ベスト10のゆくえは？

3月は毎年、テーマコーナーに当年度に借りられたベスト本を展示しています。

1～8分類まで、ジャンルごとのベスト10と、村図書館で最も利用の多い9分類(文学)はベスト50までを集めています。

今年度1番読まれたプラチナ本は何だったでしょうか。棚を覗きに来てください。

あわせて、1年間に受け入れた本をリストにして配布しています。



限定50部。毎年好評です。気になっていながら借り残した本・DVD・CDはありますか？チェックしてみてください。

BOOK 62 新着本

おすすめ新着本紹介

『月魚』

三浦しをん(埼玉福祉会) 細かい字がづらい、目が疲れるといいう方ががでしよう。大活字本シリーズ、140冊ほど取り揃えています。

『家の中のすごい生きもの図鑑』

久留米克明(山と溪谷社) 台所のゴキブリ、軒下のクモなど身近にいながら意外と知らない生きものの暮らしを紹介。付き合い方もわかる本です。

『車のいろは空のいろ ゆめでもいい』

あまんきみこ(ポプラ社) 教科書でおなじみの物語の新作。タクシー運転手の松井さんと、不思議なお客さんとの出会いを描いた、心温まるストーリーです。

『ネズミなんびきでゾウになる？』

竹内薫監修(小学館) 冷蔵庫の水何個で氷山になる？ 1番高いビルはキリン何頭分？

大きな数を身近なものと比較しながら紹介します。難しそうな数字もこれなら楽しい！



第2弾!

やまがたわくわくチケット



コロナ禍や、エネルギー・食料品価格など、物価高騰の影響を受けた生活者や事業者への支援を目的に、山形村より1人1万円分の地域活性化商品券が配布され、昨年12月10日から取扱店での利用が開始されました。期限は今月28日までです。

もう使い切りましたか？今号では、わくわくチケットの使い道などを住民の皆さんに伺ってみました。



- ①わくわくチケットの使い道は？
- ②ウィズコロナの中、1番楽しいことは何ですか？

■中大池 男性(40代)

- ①家の食料品を買っている。散髪に行った。
- ②コロナ禍前の晩酌より良いお酒を購入して楽しんでいる。

■上竹田 女性(80代)

- ①息子家族が帰ってくるタイミングでおそば屋に行った。
- ②11月のちっちゃな発表会の時に図書館からいただいたりサイクルブックを夜に読むのが楽しい。

■下大池 男性(40代)

- ①お正月に親戚に持っていく土産を買った。
- ②旅行に行こうと家族から言われることが少なくなり趣味に没頭できるようになった。

■小坂 女性(40代)

- ①美容院に使った。
- ②コロナ禍なので楽しいことは特にない。

■中大池 女性(40代)

- ①主に食費、子どもの衣類とかです。
- ②家で子どもたちと、相撲や縄跳びをして遊ぶこと。近くの農道で自転車に乗ったり走ったりすること。

■中大池 男性(40代)

- ①全額スーパーでした。
- ②子どもと外遊び、キャンプとか気兼ねなくできるもの。密を避けることで、かえって外に行けた気がします。

■中大池 女性(70代)

- ①全て食費に。
- ②手持ちのNFT(非代替性トークン)の値上がりを心待ちにしている。

■中大池 女性(40代)

- ①自分のコート。子どものスキー用手袋。
- ②寝る前の読書。おすすめは上橋菜穂子です。

■上天池 女性(70代)

- ①食料品とメガネの購入に使いました。
- ②毎日の家族団欒です。

■上天池 男性(40代)

- ①すべて食料品に使いました。
- ②良くも悪くも飲み会や集まりが無くなったので、まだ小さい子どもとずっと遊べたことが良かったです。家族水入らずの時間を過ごせています。

■上竹田 女性(30代)

- ①食料品と靴を購入しました。
- ②仕事の休みが増えたので映画鑑賞に没頭したり、趣味の時間が取れたことが良かったです。

■上天池 女性(60代)

- ①食料品とコタツを買いました。
- ②主人の病気療養など大変なことが多かったですが、取ってあげれば孫の誕生日をゆつくりと祝えたことです。

■中大池 男性(80代)

- ①家族の食費に使いました。
- ②趣味の読書の時間が増えて楽しい。

■下竹田 男性(30代)

- ①自家用車の燃料費 ガソリン
- ②スノーボードを楽しんでいます。

■下竹田 男性(50代)

- ①飲食代と生活用品購入
- ②ウォーキング、サイクリング中の季節ごとの景観観賞。

■下竹田 男性(40代)

- ①生活費。主にほとんど食費に使いました。
- ②家族の時間が増えたこと。

■上竹田 女性(80代)

- ①年越しの食材、ポットとか普段買えない台所用用品、嬉しかったあ、本当に助かる。
- ②いちいちの里のお風呂に行って、知人とおしゃべりです。

■上竹田 男性(60代)

- ①年越しの費用、お正月の食材、お屠蘇で呑む大吟醸の日本酒、氏神様と神棚にあげる鰯、家族の一員く猫の餌、お気に入りのスコッチウイスキー2本(ちょこつと贅沢)
- ②無いですね!(強いてあげると?)コロナ禍が去った後、行ってみたところを夢想することか。

■上竹田 男性(60代)

- ①食事です。
- ②家内と美味しいものを食べるにしてください。

■上竹田 男性(60代)

- ①まだ使っていない!!ヤバイ、何に使おう?
- ②薪割り。家に薪ストーブがあり、電気代高騰のおり大活躍!!現在のストックは4~5年分。エンジン薪割り機もあるが、運動も兼ねて8割は斧で手割り。寒い冬に汗だくです。

■上竹田 男性(30代)

- ①普段買えないVSHOPのブランドを買いました(笑)あとは食べたい物買ったり村で友人と飲んで、です!
- ②昨年産まれた姪っ子をあやす時ですかね!

この号が出る頃にはわくわくチケットはほとんど使いつついるのでは?

たかが1万円、されど1万円、有効に使われたと思います。長く続くコロナ禍でしたが、ようやくゴールが見えてきました。春にはマスクの制限などもなくなる予定です。来年度はじゃんずら・運動会・分館行事などできなかつたストレスを目一杯吐きだそう。アンケートへの取材協力ありがとうございました。

山の安全を祈って

1月17日(火)、トレーニングセンターで山林作業安全祈願祭(通称、山の神)が行われました。

今年の実行委員の林業委員のほか、村長をはじめ村関係者、村議会議員、山形村猟友会、松本広域森林組合の各代表が参列しました。

実行委員代表の荻上慶さん(中大池)は、「山林では気を付けていてもケガをしましまうことがあります。神様に守っていただいて、1年間無事に作業を行いたいです」と話していました。



山形小学校 スキー教室

5・6年生 1月11日(水)



3・4年生 1月19日(木)

晴天に恵まれ、雪のコンディションも最高でした。どのコースの子もインストラクターさんのお話をよく聞いて、一生懸命取り組んでいました。

@木祖村 やぶはら高原スキー場



初めてスキーを経験する児童もいましたが、それぞれの児童が自分に合ったレベルで上達することができました。安全に楽しめて良かったです。

@あさひプライムスキー場



系車⑬

山形村の文化財に関する情報などを紹介する「ミニ・系車」。17号となる今回は、現在開催中の企画展についてお知らせします。

この度、松本市立博物館より山形村教育委員会へ、山形村に係る資料453点が移管(資料の所有や管理が移されること)されました。これらの資料は、寄贈などにより松本市立博物館の収蔵庫の中で大切に保管されてきたもので、いずれも山形村内の遺跡で見つかった土器や石器などの考古資料です。これまで村から離れた場所でも保存されてきましたが、今後は地元で保存や活用を図ることが望ましいという判断のもと移管されることが決まりました。

教育委員会では、山形村へ帰郷した資料たちへ「おかえり」の気持ちを込めて、山形村ふるさと歴史展示「里帰りの縄文土器展」をミラ・フード館にて開催中です。今回の展示では453点全てを展示することは叶いませんでしたが、なかでも特徴的なものを中心に土器や石器を展示するほか、参考資料として長野県宝の土器や村指定文化財のヒスイ製大珠なども併せてお披露目します。いずれも縄文時代を生きた先人たちの暮らしや豊かな造形表現の光る素晴らしい資料です。お里「山形村」に帰郷した貴重な資料をぜひ間近でご覧いただき、古の村民の生活や思想へと思いを馳せていただくと幸いです。

【里帰りの縄文土器展】

◇会場：ミラ・フード館 1階ロビー

◇期間：令和5年2月14日(火)～3月12日(日)

※入場無料/月曜休館

◇問合せ：山形村教育委員会

0263-9813155

こんな土器が展示されています!





「ハンドメイドルアーを作ろう!」開講
ルアーはできてみてのお楽しみ

1月14日(土)、トレーニングセンターで「ハンドメイドルアーを作ろう!」講座が開講しました。
全3回の講座で初日となるこの日は、はじめに講師の矢野良さん(下大池)より、ハンドメイドの全工程やルアーの動きの解説、「ルアーはできてのお楽しみ。怪我をしないよう1時間に1回は休憩を取って参りましょう。」

デザインを決める最初の工程が最も楽しいかも知れません」と説明を受けルアー作りが始まりました。
作業に取り組み受講生に伺ってみると、「昨年、ルアー釣りを初体験し、釣れなくてもルアーの動きに魅せられたので今回、自分の手で作るのが楽しみです」や「海釣り・川釣りをやったのですが、ルアー作りは初めてです」などの声が聞かれました。



Let's try sports!

寒い冬こそ『ずく』だして
身体を動かそう!

活き生き塾 活動記録

ストレッチ体験 1月17日(火)

YCSで放送中「ストレッチ講座」監修の山田美由紀さん(小坂)を講師に、冬の運動不足解消を目的にストレッチ体験会が開催されました。手と足を使いリズムカルな脳トレから始まり、音楽に合わせて身体の柔軟性を高める動きなど多様なストレッチが経験できました。



痛いけど...気持ちいい~

講師の山田さんからは「お尻回りの柔軟性が上がると腰痛予防になる。固い人は坐骨神経痛などのリスクがあるので、今回体験したストレッチは継続してやってほしい」と説明していました。参加者の方からは「こんなに寒いのに、いい汗がかけた。継続して柔軟性を高めたい」といった声が聞かれました。

おやし塾 活動記録

速歩体験 1月27日(金)

毎週金曜日にふれあいドームで活動されている「速歩の会」の皆さんと一緒にインターバル速歩を体験しました。早歩きして、3分ゆっくり歩くと30~40分繰り返す歩き方のことです。

歩き出し序盤は、慣れない歩き方に最初はついていくのにやっとなりましたが、お互いに声をかけ、楽しみながら体験できました。

参加者の方からは「無理なく自分のペースで歩けるのがよかったです。あんなに寒かったのに薄着にならないといられないくらい、いい運動になった」と短時間でありましたが、楽しみながら充実した運動だった様子がありました。



中大池区民
ふれあい会

2月5日(日)、中大池分館による「中大池区民ふれあい会」が行われました。今回は新型コロナウイルスの感染リスクを考慮しながら多世代の方に参加してもらえようという展示形式の内容を企画したそうです。懐かしの風景や行事の写真などの展示、映像放映、中にはレコードの展示・試聴もありました。子どもたちは駄菓子に目を輝かせ、年配の方も昔を懐かしむように見入っていました。姿が印象的でした。



風

(敬称略)

おめでた(字・親)

鳴澤 冬葵・健悟・小坂 奈津

おくやみ

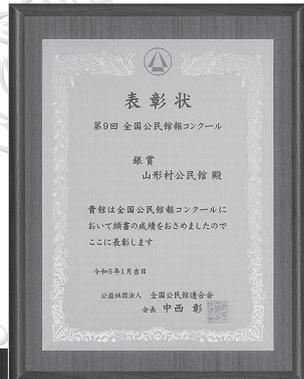
大池 洋平・46歳・下大池
宮沢 健太郎・49歳・下竹田
住吉 道子・81歳・小坂

第9回全国公民館報コンクール

館報

やまがた

銀賞受賞!



800号(12月号)発行記念@トレーニングセンター



第9回全国公民館報コンクール受賞公民館

賞	都道府県	名称
金賞	長野県	小諸市公民館
	山口県	萩市須佐公民館
	香川県	丸亀市飯山南コミュニティセンター
銀賞	長野県	山形村公民館
	福井県	小浜市松永公民館
	山口県	吉敷地域交流センター
	沖縄県	那覇市若狭公民館

(金賞から銀賞まで抜粋)

2年に1回開催される全国公民館報コンクールにおいて、山形村公民館報『館報やまがた』が、応募総数92件の中から銀賞を受賞しました。このコンクールでの受賞は平成18年度の第1回コンクールで特別賞、平成26年度の第5回コンクールで優良賞に続き、3度目の受賞となります。

また、昨年12月には昭和25年(1950年)8月の創刊から数えて800号の節目を迎えることができました。

今後も、さまざまな年代の多様性を持つ個人・団体の取り組みを紹介し、住民同士の繋がりがや住みやすい地域づくりに役立てるように邁進してまいります。

山形村公民館 編集部

野球 にかける



おれの野球は終わらない、 次は甲子園でホームラン！

中村 太一^{たいち}さん (上竹田)



「身体が何より大切、ランニングも20分歩いて、走るの5分だけ」と話す太一さん。今後の目標を尋ねると、「もう一回甲子園に行つて、息子にホームランを見せたい」と話してくれました。



甲子園球場にてご家族と記念写真

現在37歳、3人のお子さんのお父さんで、ご両親と農業を営まれ、夏はスイカ、秋はゴボウと長芋栽培を手がけています。「スイカの収穫は良い筋肉トレーニングです」。「身体が何より大切、ランニングも20分歩いて、走るの5分だけ」と話す太一さん。今後の目標を尋ねると、「もう一回甲子園に行つて、息子にホームランを見せたい」と話してくれました。

阪神甲子園球場で昨年11月19日(土)・20日(日)に開催された『マスターズ甲子園2022』に長野県選抜で出場された中村太一さん(上竹田)。2打数1安打・レフト前ヒットを放ちながらも、和歌山県代表に6対7で惜しくも敗れました。チーム入りが決まり大会に臨むまでの2ヶ月間は「嬉しくて、夢の中に居るようだった」と振り返っていました。

やまがた Smile

今月のテーマ
サークル紹介

フラサークル

紹介者 (代表): 瀬川 和枝^{せがわ かずえ}さん (上大池)



昨年10月にYCS収録した『秋の発表会』より

～館報やまがたへの情報提供募集中～

身近な情報・感想をお寄せください

入力フォーム 右のQRコードを読み取ってください。

メール 下記アドレスへメール送信してください。

kanpou@vill.yamagata.nagano.jp

電話 ☎0263-98-3155 (山形村公民館)



メンバー募集中!

初心者でも基礎から
丁寧に教えます。

団体へのお問い合わせは
山形村教育委員会
(☎0263-98-3155)まで



練習風景

フラサークルを結成してもう10年以上になります。もともとは、同じ常会でフラに興味を持った方から踊りを教えてほしいと頼まれたことがきっかけでした。当時は集会所を借りてレッスンを行っていました。次第にいろいろな地区からもやってみたいという方たちが集まり、トレーニングセンターでサークル活動として始めました。

フラを通して仲間の輪が広がり、現在は月に2回、皆で集まって文化祭や発表会などに向けての練習や新しい曲にも挑戦しています。

かつてハワイの先住民たちが言葉の代わりにフラで想いを伝え合っていたと言うよう、身につける衣装や花、手の動き一つひとつにも意味があります。見てくださる方にも、こうした文化を楽しんでもらえたら嬉しいです。

チームワークの大切さや表現することの難しさはありますが、ハワイには「辛いことがあっても笑顔を絶やさなければ、いつも幸せが来る」という言葉があるよう、これからも仲間と笑顔で踊っていきたいと思います。

山形村公民館報『館報やまがた』No.802 2月号 令和5年2月発行

編集と発行/長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷/カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見るができます→

